

## 松江豊寿と第九

第9代 若松市長を務めた松江豊寿(1872-1956)。1872(明治5)年に旧会津藩士 松江久平の長男として生まれ、日本陸軍軍人となった。板東俘虜収容所 所長としてベートーヴェンの交響曲『第九』の日本での初演に関わったことにスポットを当てて関連資料を紹介しします。

Rがついている資料は、図書館の中でご利用ください。

### 松江豊寿

R	松江豊寿 板東俘虜収容所長 維新の群像	横田新/著	歴史春秋出版	2005	L289/M40/12
	第9代若松市長をつとめた松江豊寿の軍人としての生涯を追った一冊。遺児松江仁寿と水田寿子両氏が父を語った記録も掲載。1993年の初版も所蔵。				
	英傑の日本史 敗者たちの幕末維新編	井沢元彦/著	KADOKAWA	2014	L281.04/14/1
	苦難に立ち向かった敗者たちの生涯から幕末史を問う。松平容保等20名を掲載。「松江豊寿」p155-160				
	歴史街道 平成18年7月号(通巻第219号)		PHP研究所	2006	L216/P1/2
	「特集「第九」が日本で初めて演奏された日」秋月達郎/著 松平健/[談]を掲載。p76-93				
R	松江豊寿 [リーフレット] -受け継がれた会津の武士道精神-	「バルトの楽園」会津支援協議会(会津若松市観光課内)/企画	「バルトの楽園」会津支援協議会(会津若松市観光課内)	2006	L289/M40/18
	うらやましい人 ベスト・エッセイ集 '03年版		文芸春秋	2003	914.68/N3/
	「仁慈の心保科正之と松江豊寿」中村彰彦/著を掲載。p95-101				
R	会津会々報 第112号		会津会	2006	L/051/A2/1-47
	「祖父松江豊寿の思い出」松江美枝子/著・「ひげの伯父さん」松江宏次/著を掲載。p67-70				
R	会津会々報 第78号		会津会	1971	L/051/A2/1-13
	「板東俘虜収容所長松江豊寿氏」・「ドイツ俘虜について」松江智寿/著を掲載。p19-21				
	歴史春秋 第21号		歴史春秋社	1985	L216/R2/13
	「鳴門の会津人-松江豊寿の武士の情-」宮崎十三八/著を掲載。p84-94				

### 板東俘虜収容所と第九交響曲

	板東俘虜収容所 日独戦争と在日ドイツ俘虜	富田弘/著	法政大学出版局	1991	L289/M40/2
	第一次世界大戦におけるドイツ人俘虜に関する研究資料。著者の遺稿集としてまとめられたもの。新装版(2006)も刊行。				
R	板東ドイツ人捕虜物語	林啓介/[ほか]著	海鳴社	1982	L289/M40/4
	ドイツ人捕虜の史実の全容を日独の資料や証言を翻訳、さらにその後の交流を紹介。巻末に参考文献を掲載。				
	板東俘虜収容所 第九交響曲のルーツ(阿波文庫6)	林啓介/著	南海ブックス	1978	329.4/H3/1
	徳島の「阿波文庫」からの発行。板東俘虜収容所の沿革や生活がまとめられている。巻末に板東俘虜収容所に関する資料(p206)を掲載。				
	「第九」の里 ドイツ村	林啓介/著	井上書房	1993	L289/M40/5
	上記『板東俘虜収容所 第九交響曲のルーツ』の改訂版。資料・写真を見直し、その後の交流を加え増補加筆したもの				
	望郷のシンフォニー 「第九」日本初演事情	林啓介/著	長征社	1986	764.3/H/1

「第九」の演奏と地元 徳島との交流にスポットを当て、丁寧にまとめられている。				
R	板東俘虜収容所物語 日本人とドイツ人の国境を越えた友情 (光人社NF文庫 むN-497)	棟田博/著	光人社	2006 L289/M40/14
『日本人とドイツ人 人間マツエと板東俘虜誌 (光人社NF文庫)』1997の改題。第一次世界大戦で捕虜となったドイツ人とその収容所 所長松江豊寿のヒューマニズムを軸に、日本初の「第九」演奏を含め民族を超えた人間愛をえがいている。				
	松江豊寿と会津武士道 板東俘虜収容所物語 (ベスト新書11)	星亮一/著	ベストセラーズ	2006 L289/M40/9
著者 星亮一氏は、松江豊寿を朝敵・賊軍と罵られ苦難の少年時代を過ごした「会津人」としての観点からえがいている。				
R	「板東俘虜収容所」研究	鳴門教育大学 社会系教育講座	1990	L289/M40/1
鳴門教育大学社会系教育講座と同芸術系教育講座が昭和62・63年度に文部省特定研究として鳴門市板東俘虜収容所をまとめた報告書。				
	板東俘虜収容所の全貌 所長松江豊寿のめざしたもの	田村一郎/著	朔北社	2010 L289/M40/19
鳴門教育大学や鳴門市ドイツ館 館長を勤めた著者が、「板東」研究の区切りとして全貌を記した。「第4章「板東」研究の現状と研究資料」の文献紹介は貴重。				
	鉄条網の中の四年半 板東俘虜収容所詩画集	カール・ペーア/詩	井上書房	2006 L941/B1/1
収容所の当時の生活を描いた詩画集。各著作に引用されている資料であり、捕虜たちの怒り、悲しみ、苦悩などを伝えている。2006年公開の映画「バルトの楽園」を機に復刻されたもの。				
	「第九」と日本出会いの歴史 板東ドイツ人俘虜収容所の演奏会と文化活動の記録	ニコレ・ケンブケン/著	彩流社	2011 762.1/ケニ119/
	第九「初めて」物語	横田庄一郎/著	朔北社	2002 764.31/Y1/1
	四国板東豊寿めぐり 旅ガイド	歴史春秋出版	2006	L289/M40/16
板東での松江豊寿の足跡を紹介した紀行・案内記。				

### \* 子ども向けに書かれたもの…

	父の過去を旅して 板東ドイツ俘虜収容所物語 (ポプラ社いきいきノンフィクション24)	安宅温/著	ポプラ社	1997 L289/M40/6
R	ひびけ青空へ！ 歓喜の歌 板東ドイツ俘虜収容所物語 (ポプラポケット文庫 801-1)	安宅温/著	ポプラ社	2006 L289/M40/13
上記『父の過去を旅して』の改題。関係年表・第一次世界大戦から終戦までと文献が掲載。p183-192				
R	中学道徳 明日をひらく3 福島県版	「明日をひらく」編集委員会/著	東京書籍	2005 L375.3/F20/1
「福島県の資料3 日本初の「第九」演奏」福島県版道徳資料編集委員会/編として掲載。p9-12				

### 弟・松江春次と家族

	松江春次伝	塩谷七重郎/著	歴史春秋出版	2005 L289/M68/1
南洋開発の父、砂糖王と呼ばれ、南洋興発株式会社の総裁として君臨した松江春次の一代記。				
R	南洋と松江春次	能仲文夫/著	時代社	1941 L289/M68/2
松江春次の一代記。1941年に発行された資料で、国立国会図書館デジタルコレクション(館内限定閲覧)として閲覧可能。				
	松江春次翁の足跡 記念館建設記念誌	松江春次記念館建設事業実行委員会/編	[松江春次記念館建設事業実行委員会]	2013 L289/M68/3
平成25年11月に福島県立会津工業高校に建設された「松江春次翁記念館」落成記念誌。				
R	会北史談 第41号		会北史談会	1999 L216/K16/1-41
「松江豊寿と松江春次 高貴な志を生きた兄と弟」満田元彦/著を掲載。p50-70				
	歴史春秋 第74号 平成23年(2011年)秋号		歴史春秋出版	2011 L/216/R2/66

「松江豊寿・春次兄弟を語る」森田慶一/著を掲載。p4-18			
会津人群像 第7巻第7号(通巻7号)	歴史春秋出版	2006	L291.6/A49/7
「特集松江豊寿・春次兄弟」を掲載。p8-39			
R 会津会々報 第112号	会津会	2006	L/051/A2/1-47
「山本五十六と松江春次の親交」松江宏次/著を掲載。p71-75			
会津史談 第75号	会津史談会	2001	L216/A21/29
「松江豊寿・春次の祖父 良策と父久平の事」塩谷七重郎/著を掲載。p148-166			

## 映画・小説の題材として…

R バルトの楽園		東映ビデオ	2007	DV289/M1/2
2006年公開の東映映画。板東俘虜収容所が舞台で収容所所長・松江豊寿の活躍や、俘虜となったドイツ兵と地元の住民の交流などを史実に基づいて描いた作品。監督 出目昌伸、脚本 古田求、主演 松平健。				
R バルトの楽園 メイキング・オブ【DVD】		東映ビデオ	2006	DV289/M1/1
R バルトの楽園 オリジナル・サウンドトラック【CD】		カメラータ・トウキョウ	2006	D289/M1/1
バルトの楽園 BART NO GAKUEN 【公開映画のパンフレット】		東映事業推進部	2006	L289/M40/8
シナリオ 2006年7月号 第62巻第7号(通巻696号)		シナリオ作家協会	2006	Z778.5/S3/
「バルトの楽園」古田求/脚本・「“美談”をいかにリアリティある物語に—」古田求/談を掲載。p82-121				
バルトの楽園(がくえん)	古田求/著	潮出版社	2006	L913.6/F3/1
脚本家自身によるノベライズ				
R Weeklyぴあ 2006年6月1日号 第35巻第21号(通巻1152号)		ぴあ	2006	L289/M40/10
バルトの楽園〈がくえん〉 p30				
奇蹟の村の奇蹟の響き	秋月達郎/著	PHP研究所	2006	L913.6/A15/1
ハンスの林檎	村上政彦/著	潮出版社	2006	L913.6/M25/1
二つの山河 (文春文庫 な29-3)	中村彰彦/著	文藝春秋	1997	L913.6/N6/12
1994年第111回直木賞受賞作。松江のヒューマニズム「武士の情け」を旧会津藩士としての辛酸と陸軍の韓国駐在体験とに注目した物語。				
R 虹の譜 上巻・下巻 板東の会津人 松江豊寿【ビデオ】		会津若松文化振興財団てづくり舞台制作委員会	1999	V770/A2/1-2
「第2回 会津若松市民参加のてづくり舞台」平成11年10月31日に会津若松市の會津風雅堂で上演。				
虹の譜 二幕十場 板東ノ会津人・松江豊寿	相良武祐/作・脚本	相良武祐	1998	L912.6/A2/1-2
R 新刊展望 2006年8月号 第50巻第8号(通巻729号)		日本出版販売	2006	L289/M40/15
「新世紀文学館32:板東俘虜収容所」清原康正/著を掲載。p18-21				

## 関連ホームページ

敗者の痛みを知る会津武士 人道主義を貫く 日本初のベートーベン第九 	<a href="http://ifsa.jp/index.php?matsuetovohisa">http://ifsa.jp/index.php?matsuetovohisa</a>
留学生への支援を目的とした非営利団体 国際留学生協会のHP。『向学新聞』の2006.10月号「現代日本の源流」の連載として「松江豊寿」が紹介されている。	
なると第九 	<a href="http://www.city.naruto.tokushima.jp/contents/daiku/">http://www.city.naruto.tokushima.jp/contents/daiku/</a>
「第九」アジア初演から現代までを伝えているHP。「板東俘虜収容所所長 松江豊寿」「模範収容所でのドイツ兵捕虜の様々な活動」「1918年6月1日。「第九」アジア初演の日。」が掲載。	
知っておきたい日独の歴史のお話2 板東俘虜収容所の奇跡 	<a href="http://www.newsdigest.de/newsde/features/6907-kriegsgefangenenlager-bando.html">http://www.newsdigest.de/newsde/features/6907-kriegsgefangenenlager-bando.html</a>
2015年4月「ドイツニュースダイジェスト1000号記念特集」として掲載。ドイツニュースダイジェストは、1994年4月創刊のドイツで刊行されている日本語情報誌。ドイツの政治・経済・社会ニュース、当地での暮らしに役立つ様々な情報を発信している。	

## ベートーヴェンの交響曲第九番について…

〈第九〉誕生 1824年のヨーロッパ	ハーヴェイ・サックス/著	春秋社	2013	764.31/サハ138/
ベートーヴェン第九 フランス大革命に生きる	小松雄一郎/著	築地書館	1979	764.3/K/
第九 歓喜のカンタービレ		ネット武蔵野	2006	764.31/タ106Z/
その時歴史が動いた 24	NHK取材班/編	KTC中央出版	2004	210.04/S2/24
「ベートーヴェン、第九誕生！・民衆に自由を呼びかけた交響曲」篠田正浩/談を掲載。p206-251				
《第九》虎の巻 歌う人・弾く人・聴く人のためのガイドブック	曾我大介/著	音楽之友社	2013	764.31/ツタ138/
別冊太陽 日本のこころ No.56 WINTER'86		平凡社	1987	Z051/B5/56
「ベートーヴェン交響曲第九番「合唱付」」藤田由之/監修。「日本第九演奏史」鈴木淑弘/著も掲載。p99-115				
ベートーヴェンの第9交響曲 分析・演奏・文献	ハインリヒ・シェンカー/著	音楽之友社	2010	764.31/ヘル104/
ベートーヴェンの『第九交響曲』〈国歌〉の政治史	エステバン・ブッフ/著	鳥影社・ロゴス企画部	2004	764.31/ヘル04Z/

